

最大500万円で低コスト再造林にチャレンジ！

－ 異業種にも期待！ 自由な発想による低コスト再造林の実践提案を募集します －

本県の造林面積は年間200～300ha程度で、再造林率は3割程度にとどまっています。最大のネックは伐採して得られる収入に対して再造林経費が大きいことにあり、補助金を活用しても森林所有者の手元に残る収入はわずかであることが再造林が進まない原因となっています。

そこで、県では、再造林の低コスト化を推進するため、従来の補助事業の枠にとらわれない最新の技術や知見を取り入れた低コストな再造林の実践提案を募集します。

森林組合や林業事業者のみならず、機械メーカーや研究・教育機関、建設系・福祉系企業など、様々な主体からの実践提案を期待しておりますので、報道機関のみならずにおかれましては、広く情報発信に御協力願います。

記

1 対象となる取組 : 低コスト技術等を活用した再造林の実践

【例示】

先駆的な林業機械の使用，伐採から造林までの一貫作業システムの導入，
低密度植栽，規格外苗木による植栽，ICT活用
わらび等カバークロップの活用による下刈作業軽減，異業種連携 等

2 補助内容 : 最大500万円

(3ha以上の場合。モデルエリア面積が3haに満たない場合は、面積に応じ減額)

3 補助の条件等

- (1) 他の補助事業との重複がないこと。
- (2) 事業実施後は適切な保育に努めること。
- (3) 低コスト造林の実施効果を自己分析し、事業実施後3年間にわたり低コスト化の効果及び活着状況等について報告を行うとともに、枯死木が著しく多い場合は、補植等により健全な成林に努めること。
- (4) 現地検討会の開催や視察の受け入れ等、普及PRに努めること。

4 募集期間 令和3年7月6日(火) から 令和3年8月13日(金) まで

5 応募方法 様式に必要事項を記入し、宮城県森林整備課森林育成班宛て提出。

6 審査方法 事業費の削減幅や低コストの取組に対するアイデア等を評価した上で順位付けを行ない、予算の範囲内で補助を行う。

7 その他 詳細は、県ホームページの募集要項のとおり。